

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第1グループ(新丸子)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	1 新丸子こども文化センター	H27	H28	H27	H28
	①年間延べ利用者数	41,515人	43,232人	②年間延べ利用団体数	343団体 550団体
	2 上丸子小学校わくわくプラザ				
	①登録者数	406人	445人	②年間延べ利用者数	31,553人 29,380人
収支実績	3 西丸子小学校わくわくプラザ				
	①登録者数	301人	315人	②年間延べ利用者数	19,293人 19,079人
	単位:円				
	1 収入				
指定管理料	53,075,758				
2 支出					
人件費	43,738,547				
管理費	3,009,123				
事務経費	2,718,505				
その他経費	3,295,617				
合計	52,761,792				
3 差引	313,966				
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。				

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全な育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・西丸子小学校わくわくプラザでは、「高齢者地域ふれあいサロン」から、絵手紙の講師を招いて絵手紙の作成について学ぶ行事を実施するとともに、多世代交流の促進に向け、新丸子こども文化センター、上丸子小学校わくわくプラザ、西丸子小学校わくわくプラザにおいて、丸子玉川老人いこいの家と連携し、長寿を祝う絵手紙を作ってプレゼントするなど、新たな事業に積極的に取り組んでいる。 ・新丸子こども文化センター、上丸子小学校わくわくプラザ、西丸子小学校わくわくプラザにおいては、命の大切さを伝える読み聞かせ事業を実施し、上丸子小学校わくわくプラザ、西丸子小学校わくわくプラザでは、命の授業を実施するとともに、新丸子こども文化センターでは、中原中学校・橘中学校の職業体験において乳幼児親子に手遊びや読み聞かせをするなど、児童の健全な育成を図った。 ・上丸子小学校わくわくプラザでは手話で歌を歌う取り組みを実施した。 ・こうした取り組みの結果、新丸子こども文化センターでは、年間延べ利用団体数が550団体となり、昨年より207団体増えたほか、年間延べ利用者数も43,232人となり、昨年から約1,700人増加し、着実に事業成果が上がっている。					

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「子ども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか	5	3	3	
<p>・利用者ニーズについては、意見箱の設置のほか、利用者アンケートによりニーズを把握した結果、新丸子子ども文化センターでは「ちびっこパズル」の回数を増やし、父親の子育てを支援する取り組みとして、新たに「まるるんぱぱ」を年6回に開催した。</p> <p>・特別な配慮を要する利用者については、適切な対応が図られるとともに、上丸子わくわくプラザでは、独自に「障がい児対応研修」を実施し、個別の指導方法の改善、西丸子小学校わくわくプラザでは、学校との連携して「児童対応研修」を実施したことで、情報共有や職員の意識の向上が図られ、児童への対応に活かされている。</p> <p>・学校及び行政機関、地域の団体等との連携については、上丸子わくわくプラザで、小学校と年2回情報交換会を行うとともに、職員が毎日小学校の職員室へ出向き、情報交換を行っている。</p> <p>・また、新丸子子ども文化センターでは、中原区役所地域ままみり支援センターと連携した子育て支援事業や、中原区役所保健福祉センターと協力した乳幼児行事を実施するとともに、中原中学校区地域教育会議、丸子地区社会福祉協議会との共催により、中原中学校吹奏楽部と連携した「わくわくコンサート」を実施した。</p> <p>・こうした学校や行政機関、地域団体との結びつきが強いという地域の特性を活かし、その輪の中に、子ども文化センターやわくわくプラザをしっかりと入れることで事業の成果を上げている。</p> <p>・広報では、新丸子子ども文化センターで、乳幼児向けたよりを年10回、中高生向けたよりを年5回発行し、対象年齢を捉えた効果的な広報を行うとともに、中原区役所発行の情報誌にも毎月行事を掲載するなど、様々な媒体を用いた積極的な広報の工夫がされている。</p> <p>・子ども文化センター運営協議会については、定期的に開催するだけでなく、共催事業を積極的に実施し、芋ほりや大掃除のほか、特に、「子どもまつり」においては、町内すべての子ども会や150名のボランティアが協力し、子ども会もブース出店するなど、地域を巻き込んだ積極的な館運営への参画が行われている。</p> <p>・わくわくプラザ保護者懇談会については、事業計画どおり開催されている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <p>・人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</p> <p>・特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</p> <p>・職員の研修体制について、市主催の研修への参加が多数あり、かわさき市民活動センター全体、区、館毎の研修を、概ね計画通り実施していた。</p> <p>・個人情報の取扱については、法人において規定している、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。</p> <p>・また個人情報の漏洩の事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
<p>(評価の理由)</p> <p>・施設・設備の保守管理については、各子ども文化センターとわくわくプラザにおいて、点検チェックシートを作成し、始業前、終業後に施設・設備の点検を行っている。</p> <p>・利用者の安全確保については、事故防止マニュアルや衛生管理マニュアル等を定めており、上丸子子ども文化センターでは、食品を扱う行事の場合は、必ず保護者が申し込みをするように周知徹底を図っており、上丸子小学校わくわくプラザでは、アレルギーを持つ児童の保護者に対して、毎月おやつメニュー表を渡し、原材料の確認を依頼したり、食物アレルギーを持つ児童の誤食を防止するため、毎回、おやつを児童と一緒に確認し、持ち帰る分はすぐしまうよう指導するなど、利用者にも積極的な働きかけを行っており、細心の注意を払った事故防止対策が図られている。</p> <p>・また、中原区の研修では、衛生管理研修を実施するとともに、新丸子子ども文化センターでは、事故対応研修の実施、新丸子子ども文化センターでは、事故や怪我が発生した場合に、館内会議で職員やスタッフで情報共有を行っており、西丸子小学校では、わくわくプラザ事故事例検討研修を行うことで職員の意識を高め、積極的に再発防止に努めるなど、きめ細かい事例検討により現場での実践に生かされる仕組みが構築されている。</p> <p>・防犯対策では、不審者対応マニュアルを作成しているほか、地域教育会議と連携して、地域の危険個所のパトロールを行うなど、地域と連携した防犯対策に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・災害時の対応については、災害時対応マニュアルを定めており、各子ども文化センター・わくわくプラザにおいて、消防避難訓練を行っている。</p>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

概ね、全ての行事でのアンケート実施や運営協議会、子ども運営協議会、子ども会などの地域との密な連携や日常的な利用者への積極的なコミュニケーションを行うことで、利用者ニーズを把握し、事業運営改善に活かしている。
また、施設の広報では、乳幼児から高校生まで幅広い利用者に対して、たよりを発行しているだけでなく、中原区発行の情報誌への行事の掲載や中学校への配布も行っており、利用者の増加に努めている。
さらに、図書の充実にも力を入れたことにより、カード登録者数(昨年度比約55%増)や図書数(昨年度比約83%増)が増加していることは評価でき、事故事例検証研修や児童対応研修など、職員の能力向上や意識付けに取り組み、事業運営に反映した点も評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、利用者のニーズ把握や地域との連携を密に図り、より一層のサービス向上に努め、特色ある事業を実施していくこと。
また、利用者が安全安心に利用できるよう、職員研修を充実させ、職員のスキルアップを図ること。